

研究・調査報告書

報告書番号	担当
494	独立行政法人酒類総合研究所
題名 (原題/訳)	
<p>Effect of chronic administration of ethanol on the regulation of tyrosine kinase phosphorylation of the GABAA receptor subunits in the rat brain.</p> <p>ラット脳におけるチロシンキナーゼのリン酸化による GABAA 受容体サブユニット調節への慢性エタノール投与の影響</p>	
執筆者	
Marutha Ravindran CR, Mehta AK, Ticku MK.	
掲載誌 (番号又は発行年月日)	
Neurochem Res. 2007 Jul;32(7):1179-87.	
キーワード	
エタノール、GABAA 受容体、チロシンキナーゼ	
要 旨	
<p>GABA システムはたくさんあるエタノールの薬理的ターゲットのうちの 1 つである。本研究ではラットに慢性的にエタノールを投与して小脳、大脳皮質、海馬の GABAA 受容体 $\alpha 1 \beta 2 \gamma 2$ サブユニットのチロシンキナーゼによるリン酸化による制御を調べた。ラットに慢性的にエタノールを投与後、チロシンキナーゼによる $\alpha 1$ サブユニットのリン酸化には変化や負の制御が見られないが、$\beta 2 \gamma 2$ サブユニットでは脳の領域に応じて変化がないところと正の制御を受けるところが見られた。これらの変化は 48 時間後には元のレベルに戻った。以上より、チロシンキナーゼによる GABAA 受容体のリン酸化がエタノール依存に関与することが示唆された。</p>	